

これまでの取組

青垣地域小中学校では、平成29年度から「コミュニティ・スクール」をスタートさせます。

現在、学校運営協議会準備委員会を設立し、準備を進めているところです。これまでの取組を紹介します。

先進地視察

平成22年度からコミュニティ・スクールに取り組んでおられる、徳島県東みよし町に視察に行ってきました。



お話の中で、以下の2つの効果があったことを紹介していただきました。青垣地域のコミュニティ・スクール導入に向けて、大変参考になりました。

- 地域の方との関わり → 先生以外（地域住民等）の児童に対する評価 → 児童の自己肯定感の高まり → 児童の学習意欲の向上
- いじめ・不登校の減少

熟議

コミュニティ・スクールは、学校と地域の方が、子どもが抱えている課題を共有し、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという、目標やビジョンを共有して子どもたちを育てていくことが大切です。より多くの方の意見を反映させるために、地域懇談会において以下のポイントを踏まえ、熟議を実施しました。

- ①多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、
- ②課題について学習・熟慮し、議論をすることにより、
- ③互いの立場や果たすべき役割の理解が深まるとともに、
- ④それぞれの役割に応じた解決策が洗練され、
- ⑤個々人が納得して自分の役割を果たす

熟議の様子



テーマについて個人の考えを書く



考えをグループで話す



全体に向けて発表する



似た考えをまとめる

まとめ

テーマ

青垣の子どもにどんなふう to 育ててほしいか

各グループから出た意見のまとめ

- ・ふるさと青垣を愛する子
- ・人を大切にする子
- ・粘り強く積極的にがんばる子
- ・しっかり学ぶ子

